



都市の緑

幼い頃より、造園樹木苗や草花の球根など植物材料の育成・販売などを手掛けていた父の背中を見て、育ちました。また、伯父（渡邊^{とつぎ}五月）が、当時県内では珍しかった造園業を川口市安行で大きく営んでいたこともあり、小さい頃から造園の世界の一端を見てきました。

「川口市安行」は、日本三大植木産地の一つです。（他は、福岡県久留米市田主丸及び愛知県稲沢市）

私は現在、安行で造園工事業を営み、公共工事や園地管理、個人宅の作庭や維持管理などに携わっています。

埼玉県における造園業は、県が昭和42年の国体開催に合わせて進めてきた様々な種類の公共造園工事（プール、陸上競技場、植栽、街路樹など）と川口市などの公園整備とともに、徐々に力をつけ、今日の造園分野の建設及び維持管理につながっています。

ここで、公園の成り立ちや分類などを振り返ってみますと、公園は2つの系統に分けられます。一つは、自然そのままを基調としつつ、すぐれた自然を守ることを目的に、極力人の手を加えない、地域制の自然公園（国立公園・国定公園・県立自然公園）で、国の所管は環境省です。全国34の国立公園のうち、県内にあるのは「秩父多摩甲斐国立公園」です。

もう一つの流れが、国又は公共団体が作る都市公園（国営公園・県営公園・市町村公園）で、国の所管は国土交通省です。全国17の国営公園のうち、県内には「武蔵丘陵森林公園」があります。

一方、私たち造園業を営む者の領域は、都市部が殆どで、都市公園に加え、街路樹、公共・民間施設の植栽、河川周辺の緑地、屋上

や壁面などが主要な箇所です。もちろんマンションの外構や個人の庭なども加わります。

しかし、都市の緑と同様、人のつくった森や林も「手入れ」が必須です。武蔵野の林を構成するクヌギ・コナラなどの薪炭林^{しんたんりん}は、15年から20年の間隔で伐採し、萌芽更新^{ほうがこうしん}を図ってきました。毎冬の落ち葉掃きも必要ですが、近年はいろいろな事情から、これらのサイクルが維持できなくなりつつあります。

この弊害により、近年新座市を始め県内で、コナラなどに穿入するカシノナガキクイムシが猛威を振るっているとの見方をする方もいます。

ちなみに明治神宮の森は、本多静六博士が主導し、全国からの献木を育成しつつ、シラカシ・シイなどの常緑広葉樹から構成される極相林^{きょくさうりん}という理論の基に、現在の森を呈しています。

本県の緑のトラスト保全地14箇所も例外ではなく、一定の手入れが必要です。ボランティアの皆様などのご尽力により、行き届いた管理が行われており、心から敬意を表します。

私も学生や現場の若い方々に指導する際、植物管理の重要性を強く説明し、先人が脈々と築いてきた造園技術・技能の継承に努めています。

さらには、伝統的な技法と最先端の技術や機械を合わせながら、都市の緑そして県民の財産である、ふるさと埼玉の緑を美しく・永く維持していきたいと考えています。

(一社) 埼玉県造園業協会 会長
ものづくり大学客員教授
渡邊 進

イベントのお知らせ

秋のトンボ観察会

9月18日(土) 9時30分～12時

集合場所 蓮田市環境学習館 (蓮田市大字黒浜 1061) ☎048-764-1850

協会員 無料 一般 200円 20人先着順 締切9月13日(月)



▶黒浜沼とその周辺は、9科33種のトンボが確認できるトンボの宝庫です。小さなアジアイトトンボから大型のウチワヤンマまで様々なトンボを観察することができます。沼周辺を散策しながらトンボを探してみませんか。散策の後は、採取したトンボや、水辺の環境についてのお話があります。子どもから大人まで楽しめる観察会なので、是非ご参加ください。

【対象】

対象年齢なし
小学生以下は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】

筆記用具、飲み物、長袖、長ズボン、活動しやすい服装、靴でご参加ください。

【申込】トラス協会事務局まで Web、又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら➡



各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。

緑のボランティアセミナー 参加者募集

緑のトラスト運動に必要な知識や、技能を得るための研修を行います。これからボランティアスタッフとして活動してみたい方はもちろん、既に活動中の方のご参加もお待ちしています。

研修の特色

- ◆県内のトラスト保全地をフィールドにした実習
座学のみでなく、フィールド実習の機会を多く取り入れた研修内容で、より実践的な学びにつながります。
- ◆保全活動経験が豊富な講師陣
現場の第一線で活躍している講師陣が研修を担当。研究者による講義もあります。
- ◆野外活動の基礎力
野外活動におけるリスクを洗い出し、その対策をシミュレートし、リスク対応を学びます。
また、日常生活から災害時などにも役立つ、応急手当、AEDの使い方を習得します。

募集要項

- 対象：18歳以上
研修修了後にボランティアスタッフとして協会の活動に参加できる方
日程：9月4日(土)～11月13日(土)の期間のうち6日間
修了認定基準：原則として必修科目を含め、全課程を受講すること
定員：30人(申込順)
受講料：一般 7,500円(会費1年分、保険料を含む)／協会員 6,000円
申込：電話または協会ホームページ (<http://saitama-greenerytrust.com/>) から申し込み
締切：8月30日(月)



研修	日時	開催場所
1	9/4(土) 9:25～15:20	埼玉会館(さいたま市浦和区)
2	9/18(土) 9:15～15:35	トラスト4号地(飯能市)
3	10/2(土) 9:15～15:40	トラスト8号地(北本市)
4	10/16(土) 9:30～15:40	埼玉教育会館(さいたま市浦和区)
5	10/30(土) 10:00～16:00	トラスト3号地 雨天時:ヌエック(嵐山町)
6	11/13(土) 9:30～15:20	さいたま共済会館(さいたま市浦和区)

第6回の研修(講演及び講義)は、会員及び会員関係者の方ならどなたでもご参加いただけます。

自然体験活動指導者(NEALリーダー)の資格を取得できます



体験の機会と場をつくる
魅力的な感動のあるプログラムをつくる
楽しく安全に活動を指導する
それが、自然体験活動指導者です

自然体験活動部では、自然体験活動に関する指導者の養成を行っています。養成された指導者は「自然体験活動指導者(NEAL:ニール)」として全国体験活動指導者認定委員会から資格認定されます。

※NEALリーダー登録希望者は、登録費として別途5,000円(学生3,000円)が必要です。

※NEALリーダーは永年登録です。(更新はありません)

詳しくは、全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部のホームページをご覧ください。

<http://neal.gr.jp/>



森の守り人



フラス (木屑)



伐採木の集約



切り株の燻蒸処理

皆さんはミスナラやコナラが集団で枯れる「ナラ枯れ」を見たことがありますか。原市の森に昨年8月下旬から立ち枯れするナラの木が観られるようになりました。枯れた木の幹には下から2メートル位まで木屑(フラス)がついています。調べたところ、カシノナガキクイムシという昆虫が「ナラ菌」と呼ばれるカビの仲間の病原菌を運ぶ、一種の伝染病であることがわかりました。

この害虫から森を守るためには、枯れた木を根元から切り倒し処分するしかありません。ボランティアの皆さんで50本ほど切り倒し、さらに上尾市とトラスト協会にお願いして30本ほどを伐採してもらい、大小合わせて80本以上を処分し製紙原料にしました。

また、根元に虫が多く入り込むことから、切り株の周りを掘って、殺虫剤をまきビニールシートで覆いかぶせました。伐採した跡地にはコナラの苗木を植樹しました。現在、森は緑の葉をいっぱいに広げ素晴らしい景観をなしています。これ以上被害が拡大しないよう祈るばかりです。

12号地代表 黒須 勇

トラスト 昆虫 6

コウチュウ目タマムシ科

ヤマトタマムツ (Chrysochroa fulgidissima)



ツツミ 塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫大好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

玉虫(ヤマトタマムシ)は金属光沢の緑色に赤色の縦縞模様がある美しい虫で、そのハネは昔から装飾品の材料に使われてきました。法隆寺の国宝「玉虫厨子」はタマムシのハネを貼って作られていることで有名ですが、きっと1000年の時を超えて、今でもまばゆい輝きを放っているのでしょうね。

ヤマトタマムシの極彩色は実は色素だけの色ではありません。構造発色と言って、ハネが光の反射を干渉するような構造になっているので、シャボン玉が色々な色に見えるのと同じように角度によって様々な色に見えるんです。そのため光線の具合で色が変化し、その美しさはたとえようがありません。



タマムシ、きれいだな

林で見られる昆虫で、夏になると強い日差しの下でエノキやケヤキなど高い木の梢を軽快に飛び回っています。飛び方はぎこちなく、何かに衝突するとすぐに落下してしましますが、これは甲虫類に共通するへたくそ飛翔で、硬い上翅は飛行には役に立たず、2枚の下翅だけで飛ぶので不器用な飛び方になるんですね。かつては身近な虫でしたが最近、徐々に数が減っています。

(塘 久夫)



緑のトラスト募金始まる

ふるさと埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を、県民の皆様からの寄附等により取得し、県民共有の財産として末永く保全する「緑のトラスト運動」を広く周知するため「緑のトラスト募金」を実施するものです。

これまでたくさんの方々からの寄付をいただき、緑のトラスト保全地も14か所まで増えました。みなさんの応援が埼玉の自然を守ることに繋がります。ご寄付くださる方には、所定の申込用紙をお送りします。またウェブからお申し込みできます。

<http://saitama-greenerytrust.com/join/donation/fund>



ふるさと埼玉の美しい自然を次世代に引き継ぐため ボランティア活動を始めませんか!?

● トラスト協会会員としてボランティア活動始めるメリットは？

1 活動に必要な知識や技術を学べます。

ボランティア活動を行うために必要な知識や技術を学べる研修や講習会等を開催しています。

各保全地のボランティアスタッフも親切に教えてくれます！

〈緑のボランティアセミナー〉

トラスト保全地や里山に関する講義、野外での自然観察実習、樹木伐採等の体験、活動時の安全管理方法等、活動していくために必要な知識及び技術が習得できます。

一緒に活動する仲間との交流も楽しめます！

〈保全活動技能研修〉

保全活動に必要な技術を習得できます。

①刈払い機取扱者安全教育講習会 (受講料協会負担)

②チェーンソー業務従事者講習 (受講料協会負担)

※継続的な保全活動参加等の受講条件があります。

2 体験活動も受け入れています。(特に法人会員の皆様)

各トラスト保全地では、体験活動の受け入れも行っています。

下記のトラスト事務局まで、お気軽にお問い合わせください！

3 ボランティア保険の加入、必要な機器や資材等の負担も行います！

ボランティアスタッフ登録を行って活動いただく場合は、ボランティア保険への加入も行います。

また活動に必要な機器や資材等につきましては、協会が負担します。



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者

(10万円以上、令和3年3月から5月)

一般社団法人 埼玉県造園業協会
一般社団法人 埼玉県猟友会
一般社団法人 埼玉県法人会連合会
深井電気株式会社
埼玉製鐵原料株式会社
彩源株式会社
一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会
株式会社 中村工業所

[敬称略]



新しく会員になられた方々

(令和3年3月から5月)

【個人】 21人 (うち永年5人) [敬称略]

【家族】 2家族 (7人) [敬称略]

【法人】 株式会社 朝倉鋳物 [敬称略]



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者

(10万円以上、令和3年3月から5月)

匿名希望 1 法人 [敬称略]

<会員数 (5月末現在)> 1,423人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内

電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292

ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>

メール ▶ main@saitama-greenerytrust.com

当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。

詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
	永年(一括納入)	1人	15,000円
家族	1家族		3,000円
法人	1口		10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。